



平成20年度
広島市立安佐北高等学校入学者選抜問題

国 語
(9 : 3 0 ~ 1 0 : 1 0)

注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 最初に、放送による聞き取りテストを行います。検査開始のチャイムがなったらすぐに **国 - 2** ページを開きなさい。
- 3 受検番号は、放送による聞き取りテストの終了後に、問題用紙と解答用紙の両方に記入しなさい。
- 4 問題用紙は表紙を入れて5ページあり、問題は1から4まであります。これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 5 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

一 放送による問題です。これから放送される内容をよく聞き、後の質問に対して答えなさい。なお、メモを取りながら聞いても構いません。

質問 「決まり」があると、どのようないいことがある、と述べられていますか。次の二点に分けて答えなさい。

- 1 修学旅行のように、たくさん的人数が参加する旅行の場合
- 2 人が成長するため

二 次の文章は、鼓笛隊の指揮者になった五年生の鈴木さんが、昼休みに音楽室へ行ったときの出来事です。よく読んで、後の問いに答えなさい。

昼休み、私は音楽室へ行った。

(中略)

三階へあがり、まっすぐにのびた廊下を歩いていくと、つきあたりの扉のむこうからフルートの音が聞こえてきた。

あけはなした窓からはいりこんだ風とまざりあう、やさしい音色。私はつまさきだちして、小窓をのぞいた。

白いブラウス。スカートのつりひもがクロスしたところまでのびた髪。右手の白い指が銀色のキーをおすたびに、手の甲に骨のすじが浮きあがった。

私が引き戸に手をかけると、彼女は身体をビクンとさせてふりむいた。長い毛先が宙を舞った。

清水友美さんはフルートを吹くときの「ホ」の口のまま、私を見つめた。

「あ、鈴木さんじゃない。」

「じゃましてごめんなさい。」

「気にしないで。引退しても、たまに吹きたくなるんだ。でも手がなまっちゃって、ぜんぜんだめ。」

清水さんは、楽譜をたたみ、フルートをケースにしまった。

「あつ、いいんです、私、休みにきたただけだから。どうぞ吹いてください。」

「だつたら指揮、教えてあげる。」

清水さんは教壇のおくの、音楽準備室につづくドアをあけると、中から指揮棒をもってでてきた。

いきなり個人レッスンがはじまった。心の準備もできていないまま、私はあわてて姿勢をととのえた。清水さんが鉛筆で譜面台をたたいてカウントをとる。それにあわせて、指揮棒を上下に動かす。ただそれだけ。

それなのにチャイムがなるまでに、私はなんども腕をおろしたくなつた。

昨日は気づかなかつたけれど、指揮棒はけっこつな重さだった。二の腕の筋肉はけいれんをおこしたようにビリビリするし、グリップをはずんだ親指とひとさし指の間の皮膚は、ペンチでひねったようにズキキいたんだ。

カウントがやんだ。私はやっと動きをとめることができた。「どうだった？」

「ちょっとつかれました。」

本当はすぐつかれた。

「昨日指揮者は体力勝負だつて言ったけど、実際にやってみるとよくわかるでしょ。ほら見て。」²

清水さんは右手をひろげた。おこつたように赤い手のひら。ひとさし指のつけ根には、大きなマメがあつた。

白くてはかなげな手の裏にかくされた、清水さんの「強さ」。

この手を、きつとだれも知らない。

私も来年の今ごろは清水さんみたいになっているだろうか。強くなるだろうか。

自信がない。

「腕がつかなくなつたら、指揮者にはもつと重たいものがあることを思ひだして。指揮者は鼓笛隊の責任者なの。そつちの責任のほうがつつと重たいんだからね。」

「はい。」

「これ、かたづけしておくから。じゃあまた明日、この時間に。」

清水さんは指揮棒をバトンのように回転させながら、準備室に消えていった。³

清水さんは私より十センチは背が低いのに、大きく見える。

⁴私はバレリーナのようにすつとのびた背中に一礼した。
奇跡の昼休み。

暗い底なし沼のふちに咲く、一輪の花のような時間。

(長江優子「タイドプール」による。)

1 彼女は身体をビクンとさせてふりむいた とありますが、これは清水さんのどのような気持ちの表れですか。四十字以内で答えなさい。ただし、句読点は文字数にふくめます。2・3・4の問いも同じように答えなさい。

2 実際にやってみるとよくわかるでしょ とありますが、実際に指揮棒を振った鈴木さんは、どのように感じましたか。文中から十五字以内で抜き出して答えなさい。

3 清水さんは私より十センチは背が低いのに、大きく見える は比喻表現で、鈴木さんの清水さんに対する尊敬の気持ちを表しています。その気持ちに述べられた一文をさがし、その最初の五字を答えなさい。

4 奇跡の昼休み とありますが、「奇跡」と表現したのはなぜですか。四十字以内で答えなさい。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

高名の木登りといひし男、人を掎おきてて高き木に登せて、
梢こずえを切らせしに、いと危く見えしほどは言ふ事もなくて、

おるゝ時に、軒のきたばかりになりて、「あやまち1すな。

心して降りよ」と言葉をかけ侍りしを、「かばかりに

なりては、飛び降るとも降りAなむ。如何いかにか言ふぞ」と

申し侍りしかば、「その事に候Bふ。目くるめき枝危きほどは、

己おのれが恐れ侍れば申さず。あやまちは安2き所になりて、

必ず仕つかまつる事に候Bふ」と言ふ。

(注) 掎おきてて = 指図して。

1 降りAなむ、候Bふ の歴史的かなづかいを、現代かなづかいに直して書きなさい。その際、すべてひらがなで答えること。

2 あやまち1とは具体的にはどうすることですか。現代語で答えなさい。

3 安2き所とは、具体的にはどこを指しますか。本文中から抜き出して答えなさい。

4 「高名の木登りといひし男」は、なぜ後から言葉をかけたのですか。その理由を現代語で答えなさい。

5 この文章は『徒然草』に載っています。『徒然草』の筆者を、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア…清少納言 イ…信濃前司行長 ウ…松尾芭蕉
エ…紀貫之 オ…兼好法師

四 次の問題に答えなさい。

1 次の——部のカタカナを、それぞれ漢字で書きなさい。

ゼツタイゼツメイの危機。

キリツ正しい生活を送る。

スコやかに成長する。

荷物をアズかる。

2 次の——部の漢字の読みを、それぞれひらがなで書きなさい。

水墨画は、墨の濃淡で表現する。

一切の先入観を持たずに、相手に会う。

「承る」は、敬語の一つである。

息苦しい雰囲気や和らげる。

3 体の一部に関する慣用句を一つ考え、次の条件をふまえて短文を作りなさい。

(例)

・一日中歩き続けて、足が棒になった。(歩き疲れる)

・終わらずに困っていたので、彼の仕事に手を貸した。(手伝う)

(条件)

例に挙げた「足が棒になる」「手を貸す」は用いてはいけません。

解答は、一つの文であること。二つ以上の文になってはいけません。